

おおいた流域治水プロジェクト 始動

ー 産学官連携で防災減災の意識向上に取り組みます ー

本プロジェクトでは高校生や大学生らを対象に流域治水の基本的な考え方を学び、流域で発生した過去の災害から治水対策・水害リスク等を理解することで、若年層が主体的な考えをもち、幅広い世代に対して広め、水害リスクの自分事化を推進します。

おおいた流域治水プロジェクト 実施内容

2025.10.25(土)
9:30 - 15:30

関係機関：大分河川国道事務所・大分大学・大分工業高校・九州建設コンサルタント株式会社
場所：大分川流域（大分市・由布市）※大分川下流域・宮崎排水機場・賀来川合流点ほか

STEP 01 過去の流域災害を学ぶ



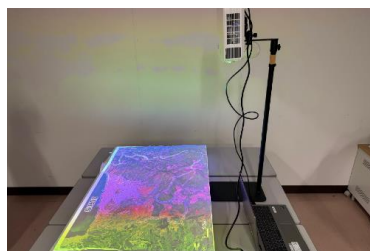
過去の災害を学ぶ「調べてみたマップ」過去に水害が発生した地点と浸水想定区域図の重ね合わせて地形の特徴を学ぶ。

STEP 02 流域治水を学ぶ フィールドワーク



河川の一体的な機能や利水と併せ、水害が発生した地点（伝承碑等）を訪れて、当時の状況や現在の治水対策を学ぶ。

STEP 03 流域教材を製作する



流域がもつ機能を学ぶための教材として、模型を製作し土地の標高差や川がどこを流れているのかを理解する。

啓発活動から主体の広がり・自らの行動の深化へ

気候変動を踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う総合的かつ多層的な水災害対策として流域治水を推進中です。



国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所

技術副所長 平岡 博志（ひらおかひろし）

電話 097-546-1474



大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター

センター長 鶴成 悦久（つるなりよしひさ）

電話 097-554-7333



大分県立大分工業高等学校

土木科 主任 松岡 慎一郎（まつおかしんいちろう）

電話 097-568-7322